

すこやか

第29号

2007/9/1

編集：市立伊丹病院患者サービス向上委員会

発行：市立伊丹病院 TEL 072-777-3773

<http://www.hosp.itami.hyogo.jp/>

50周年を迎えて



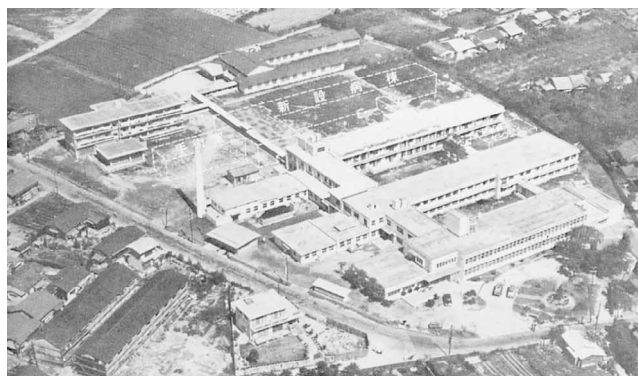
当院は昭和32年9月に伊丹市春日丘で開院し、今年50周年を迎えました。昭和58年5月に現在の昆陽池に移転し、それから24年が経過しております。

戦後、量的な拡大を目指して整備されてきた全国の病院はその目的を達成し、21世紀のわが国の医療制度はめまぐるしい変化を迎えています。国の財政問題も関係して戦後の医療制度の枠組みを大きく変える必要に迫られ、その最も大きな変化は病診連携の推進とされます。すなわち、以前は風邪でも病院で診察を受ける患者さんが大勢いらっしゃいました。しかし、診察の手法も投薬も同じなら、かかりつけ医で診ていただくほうがいい。このようなことが出発点となり、病院と診療所・医院の役割分担を明確にする指導が進められてきました。

この数年間、当院の外来から医院へと通院先の変更を勧められた患者さんは多いと思います。これは、当院独自のものではなく、おおよそ200床以上の全国の病院で同じことが繰り返されています。通院先が変更になったからといって、まったく縁が切れたわけではありません。数ヶ月ごとに診察にこられる方も多いし、病院でしか行うことのできない検査のために定期的に受診される方もいらっしゃいます。入院が必要になれば当然その役割は病院が担うわけですが、入院が必要かどうか高度検査機器を用いて検査することも病院の重要な仕事です。最新機器への更新および技術の更新も欠かさず行っておりますので、検査希望でもお気軽に当院外来を受診していただきますようご案内申し上げます。

院長 平塚正弘

▼平成19年9月 全景



昭和40年 旧病院第4期工事前全景▲

▼昭和32年 旧病院の開院当時外来棟



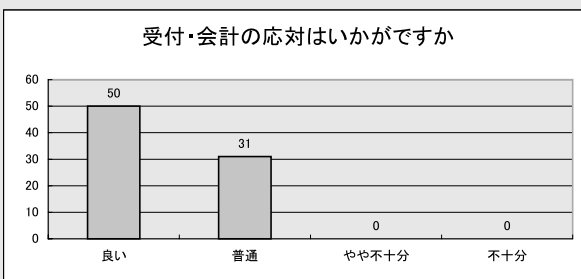
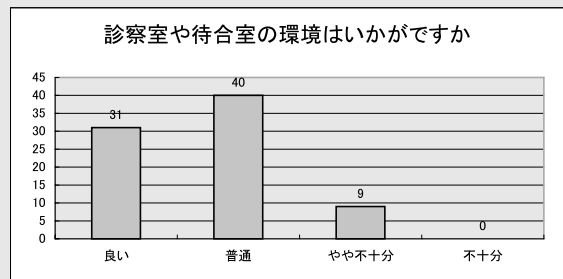
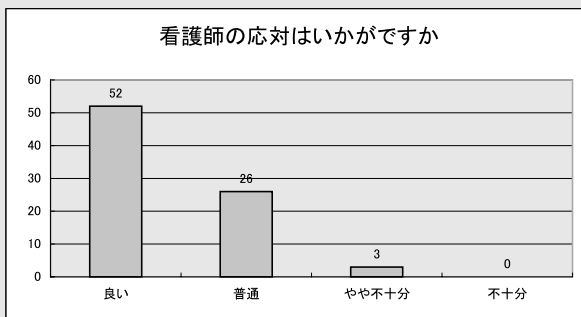
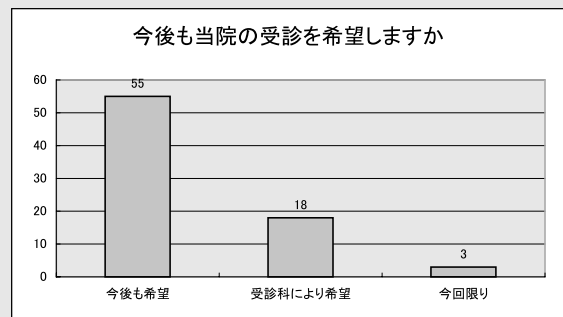
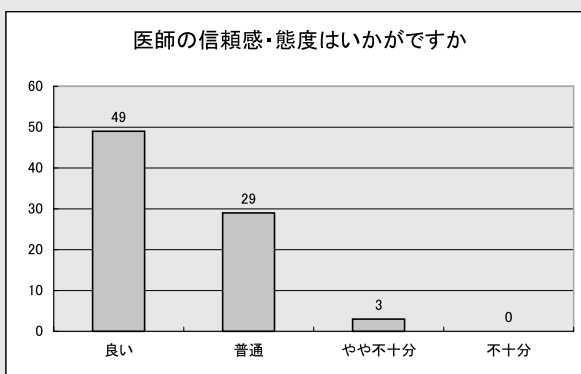
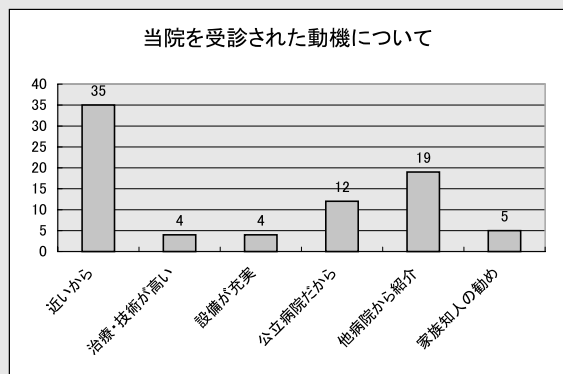
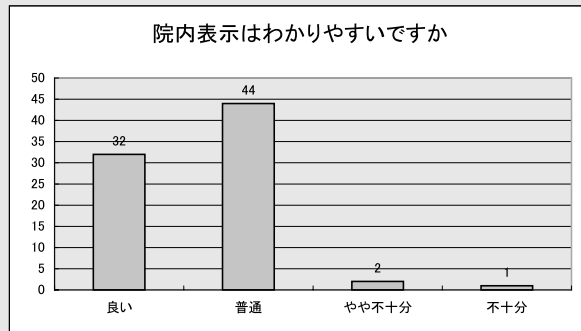
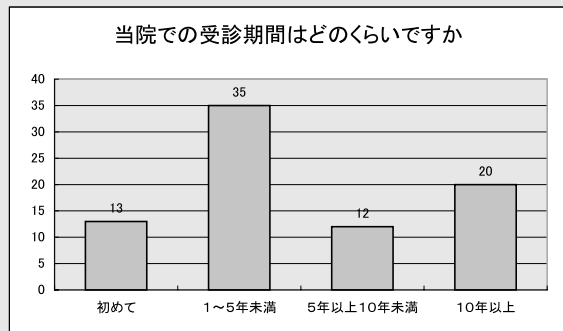
▲平成19年9月 南全景



病院開設50周年を記念して、去る7月23日に、外来へ来院の皆さまに環境面や職員の接遇についてのアンケート調査をさせていただきました。

当院の外来には、1日平均800人の患者さまがご来院になります。今回の調査は、そのうちの約1割にあたる81人の方々に回答をいただきました。

ご協力ありがとうございました。



※項目により無回答があるため、回答者数と一致しません。

病院に希望したいこととして、下記のご意見をいただきました。

- ・待ち時間を短くしてほしい
- ・午後の診察があればよい
- ・医師の説明をもっと詳しくしてほしい
- ・売店をよくしてほしい
- ・食堂の食事をよくしてほしい

『相手の立場になって考える。ボランティアは楽しい!をモットーに』

1985年5月。病院ボランティア“せせらぎ”は誕生しました。

市立伊丹病院は、地域に根ざした市民みんなの病院です。ご近所の方や知り合いの方が来院されたときは、プライバシーにかかわることですから、こちらから声かけはしないよう心がけています。自分がボランティアをしているために、来院しにくくなるのは申し訳ないことです。ボランティアにとって最も大切なことは守秘義務を守る事です。

患者さまに平等に対等に接すること……。ボランティアは、気持ちゆとりをもっていつも平常心でいることが大切ですが、受身の立場になっている私たちは、時にストレスが溜まります。ストレスを解消する手段として、グループの人たちとのコミュニケーションや趣味などで解消するのの一つの方法です。

《“せせらぎ”49名のボランティア活動を紹介します。》

「外来ボランティア」

初めて来院される患者さまとご家族は、戸惑うことが数多くあります。

その方達が初めて接するボランティアが「外来ボランティア」です。ピンクのユニフォーム姿でロビーに立っている姿は、院内で馴染みの存在になっています。

「中央材料室」

手術着の繕い・ガーゼたたみ・綿棒セット・その他。看護師さんの補助作業をしています。院内で、もっともクリーンな場所での活動です。

「図書貸出サービス」

ワゴンにたくさんの本を乗せて病室を訪問。心待ちにしてくださる患者さま。本好きになって退院される患者さまが多くおられます。

「スモック作製」

小児病棟の子供たちのパジャマ作りです。年間100枚近くをボランティアが自宅で作製しています。ボランティアが縫ったパジャマ姿の子供たちが可愛いです。

「おしぼりたたみ」

入院患者さまの身体清拭・お手拭用おしぼり作り。外来案内、中央材料室、図書貸出サービスの活動を終えた後のボランティアがたたんでいます。

「布きり」

入院患者さま、人工透析室、救急外来患者さまの身体の汚れを拭うための使い捨て布作り。患者さまに接する看護師の方々に感謝されています。

「その他」

七夕の笹飾り・クリスマスツリー飾りつけ・フラワーアレンジメント。

“せせらぎ”代表 南山 順子



外来ボランティア



図書貸出サービス



おしぼりたたみ

◎禁煙にチャレンジしたい方へ

内科外来 呼吸器科・禁煙サポートチーム

皆さんは、禁煙にチャレンジしたいと思ったことはありませんか？喫煙習慣は、ニコチン依存症という病気なので、なかなか1人では禁煙できません。

内科外来では、そんな皆さまに、呼吸器科医師による禁煙トライアルの意思確認や治療について説明させて頂いています。担当看護師は、①ニコチン依存症の状態を調べ、②薬物療法の調整方法、③禁煙中の『吸いたくなかった時の対処』『くじけそうになる気持ち』の克服など、根気よく支援いたします。

この機会に、禁煙したいと思っている方は、内科外来へお問い合わせください。尚、当院の禁煙治療は自費診療になっています。



<お問い合わせ先>

内科外来 TEL072-777-3773 内線(2201)
平日の8:30~17:00までお問い合わせ可能です。

健康教室等のご案内

眼科・歯科口腔外科健康教室

【日時】平成19年11月17日(土)

13:00~16:00

【場所】中央公民館(2階講義室A)

【参加費】無料

※ 臨床工学技士からのお話もあります

看護師による「何でも相談」のご案内

月~金、午前9時~11時まで、総合受付に看護師がいます。どの科にかかったらよいのかお困りの方、療養上のご心配ごとなど何でもお気軽にご相談ください。

糖尿病予防と療養のためのすこやか外来教室

【日時】平成19年11月24日(土)

13:00~17:00

【場所】当院講堂

【参加費】300円(パンフレット代)

【定員】20人(完全予約制)

【申込み】10月26日(金)まで

内科外来へ

【持参物】筆記用具・タオル

動きやすい服装・運動靴

☆ 医師の人事異動がありました。

採用		退職	
平成19年7月1日		平成19年6月30日	
整形外科副医長	中村俊之	脳神経外科部長	山本弘志
整形外科医員	栗田正浩	整形外科医長	南平昭豪
		整形外科医員	上杉彩子
		麻酔科医長	安達陽亮

保険医療機関では毎月、患者様に保険証の提示をお願いしております。月初めには初診受付で保険証の提示、確認にご協力くださいますようお願いいたします。